

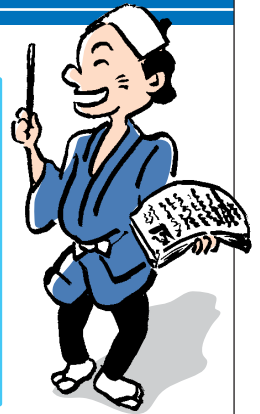
独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



青梅から秩父への道中、雨がやみ、この時期らしい瑞々しい紫陽花を撮ることができました。

学校教員 大城 忠之

第17号 目次

新病院開院に向けて	1
新看護学校の紹介	2
地域医療連携	
病診連携施設紹介	3
お知らせコーナー	
医療安全管理室より	4
検討会・研究会の開催	4
新採用医師紹介!	5
臨床検査の進め方、検査値の見方	5
シリーズ	
看護部だより/新採用看護師61名 安全をモットーに!	6
肥満食の食事療法	6

行事等紹介

看護学校竣工記念式典・祝賀会/「看護の日」の行事について	7
第5回糖尿病フェアを終えて/心肺蘇生講習会	8
大正小学校交通整理について/医師の人事異動	9
患者数の動向/編集後記	10
外来担当医表	11

発行 月：平成19年7月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター
 広報委員会
 発行責任者：高橋 俊毅
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電 話：045-851-2621
 F A X：045-851-3902
 U R L：<http://www.hosp.go.jp/~yokoham/>

新病院開院に向けて

事務部長 千田 隆夫

当院の永年の夢であった『新病院更新築』の通知を機構本部から受けたのが、平成17年11月のことでした。それから基本構想、基本計画、整備資金の償還計画等、機構本部との詰めを幾度と無く重ね、大分時間が…というより大分月日経ってしまいました。皆さん方に更新築工事に関する情報をお知らせする機会を失っておりましたので、この紙面を借りてご説明します。

現在、実施設計図を（株）NTTファシリティーズが制作中ではありますが、途中経過報告と将来図について概要をお知らせします。

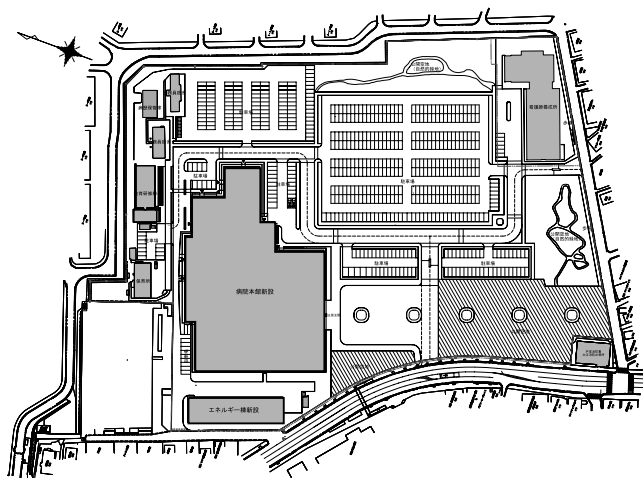
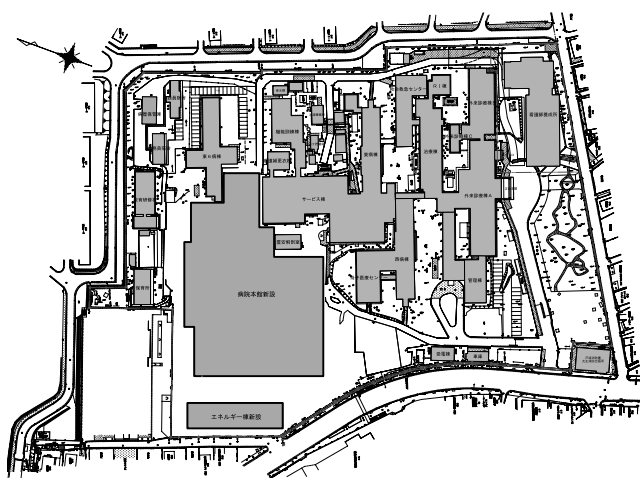
新病院建築の基本方針は現在の診療機能を維持、拡大し、当院の理念である「患者様中心の医療」「地域完結型医療」「地域で選ばれる医療」です。特に新病院開院を契機に横浜市より『横浜市南西部地域中核』として位置づけられ、更には、今年度中に地域医療支援病院の取得を目指し申請予定であることなど、真に「地域で選ばれる医療」で進むことです。

新病院の計画概要及びスケジュールは、病床数510床（一般470床、精神40床）、外来患者数710人で計画しています。診療機能としては、常に高い評価を受けている脳や心血管等の循環器や、腹部救急などの救命救急センターを充実させ、24時間365日の小児救急も医師を確保し、NICU・GCUの立ち上げなど地域の医療機関の先生方のご要望に即応でき、利用しやすい総合医療センター（地域医療支援関係病棟）や内科外科という垣根の無い臓器別センター、乳房や婦人科疾患などのレディースセンター、母子センターの設置などを構想としています。

新病院は延べ床面積が33,000㎡、病棟部門が7階建、外来管理棟・手術救命センター部門が3階建のRC造で免震構造設計です。エネルギー棟は別棟で考えてます。

【計画位置図】

【完成予想平面図】



整備計画スケジュールは

- ・19年3月～19年6月
- ・19年6月～19年10月
- ・20年2月
- ・20年3月
- ・22年2月
- ・22年4月
- ・22年5月～

基本設計図の作成

実施設計図の作成

工事入札

工事の着工

新病院完成

新病院開院

既存建物取り壊し

駐車場及び緑地の整備

現在、建築委員会における各部会と設計事務所とのヒヤリングを行い、実施設計図の作業中で当初計画に対する進捗が非常に遅れておりますが、22年4月の新病院開院だけは死守しなければなりません。職員一人一人が“自分たちで病院を建てるんだ”という気持ちを持って頑張っていただきたい。

夢を実現させるため、皆さんの協力を得ながら激務の毎日と戦い、素晴らしい病院を建てていきます。ご支援願います。

新看護学校の紹介

新校舎からはじめまして

副学校長 芦澤 トモ子

当校は昭和38年に国立横浜病院附属高等看護学院として開校し、この長い歴史の中で4回の校名変更をしながら看護基礎教育を実践し歩んでまいりました。この4月に「独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター附属横浜看護学校」と新たな校名で船出をいたしました。丁度45年の歴史を刻んだ、その節目の年に一学年定員80名の大型校としてスタートできたことは、国立病院機構はじめ、国・県・医師会並びに地域住民の皆様の温かいご支援とご協力の賜物と感謝申し上げます。

緑豊かな記念樹に囲まれた旧校舎への愛着を感じながら、5月の連休に新校舎への引っ越しを完了いたしました。新一年生を迎え、学生数も一挙に増えました。授業の合間の休憩時間やお昼休みの時間は、賑やかな学生の声が校内を響き渡らせ若いエネルギーに満ち溢れております。校舎は四階建てで体育館を併設したシンプルな構造ですが、とても機能的に設計されております。200名が受講できる視聴覚室や80名の学生が一同にコンピューター操作ができる情報処理室をはじめ、看護教育では重要な看護実習室、在宅看護実習室など充実させています。このような学習環境の整った中で授業が進められておりますが、今後公開授業や学校の開放等を行い、開かれた学校として機能していきたいと考えております。

当校は看護を实践できる人を育てるために

- 一人一人を大切にする豊かな人間性の育成
- 科学的根拠に基づいた問題解決能力の育成
- 自ら成長する能力の育成

を目指しております。

学校長は病院長が兼任ですが、副学校長・教育主事（2名）・教員（10名）は専任です。又、事務長・事務主任も病院兼任ですが、教職員が一致団結し手作りの教育を目指しながら、有能な人材の育成に努力したいと思っております。学生と共に新しい学び舎で活動していきたいと思っておりますので、今後とも関係各位の一層の温かいご指導・ご支援をお願い申し上げます。

視聴覚室



体育館の風景



授業風景



情報処理室



地域医療連携 病診連携施設紹介

しばた医院

診療科目：小児科・循環器科・アレルギー科・内科



左側 柴田 利満院長

当院は平成14年4月に戸塚区戸塚町の土屋クリニックビル1階に開院し、今年で開院5年目になりました。場所は、戸塚駅方面からだと国道1号線の下郷入口から大船駅方面に下った横浜地方法務局の横で、南戸塚小学校入り口に位置します。お車でご来院の方にも便利なように15台分の駐車場があり、ベビーカーや車いすで直接院内に入っていただけます。

小児科一般を中心に、循環器科、アレルギー科、内科を標榜していますが、地域のプライマリ・ケアに十分に対応できるように心がけて日々診療しています。受診者の多くは小児で、乳児健診、予防接種、喘息やアレルギー性疾患、かぜ症候群などの患者様が来られます。地域密着型の診療所を目指していますので、お近くの成人の患者様で、高血圧などの循環器疾患、感染症などの急性疾患、成人検診の方も受診されています。小児循環器疾患に長年携わってきたため、横浜市の学校心臓検診の二次医療機関として参加させていただいております。初夏の検診シーズンには、心電図、X線、心エコー、ホルター心電計などに活躍の場が与えられます。シャウカステンの胸部レ線写真を見て心胸郭比を測り、心電図所見を記載する時には、以前、大学病院にいた頃の診療パターンの記憶が少しよみがえってきます。

病診連携とよく言われますが、プライマリ・ケア医の診療所と横浜医療センターのような高次の中核病院の結びつきは非常に重要と思われまます。小児科をはじめ、種々の診療科に、重症疾患、より高い専門性の必要な疾患をご紹介すると快く受け取っていただき、また、適切にご指導いただきまして非常に感謝しています。時には近所の患者様を横浜医療センターからご紹介いただいたりしています。これからも地域の医療をそれぞれ分担して理想的な医療圏の構築に参加していきたい所存です。



しばた医院

〒244-0003 戸塚区戸塚町2810-8 土屋ビル1F

T E L 045-865-6666 F A X 045-865-3033

診療時間 月・火・水・金 9:00~12:00 15:00~18:00
木 9:00~12:00
土 9:00~13:00

お知らせコーナー

医療安全管理室より

医療安全の日 ～Memorial Day～

医療安全管理係長 小林洋子

当院は、毎年4月13日を、医療安全を振り返る「医療安全の日～メモリアルデー」と定めています。今年度は院外講師をお招きし、医療事故についての事例をまじえながら講演を行って頂きました。講師の言葉の中から、医療事故は患者様の悲しみはもとより私達、医療従事者にとっても、取り返しのつかない重大な事柄であるという事が切々と伝えられ、身の引き締まる思いで聴講を終えました。参加者数も190名で、全職員数の1/3が参加し、各職場での医療安全に向けた関心の高さが伺えました。また講演会後の職員アンケートでも様々な声が聞かれましたので、その一部をここに紹介します。

<アンケートより>

- 他人ごとではなく常に危機意識をもって仕事をしていく必要性を改めて感じた
- 患者様やご家族に誠実に向き合える医療者でいたいと思った
- 経験を積むと同時に自信も出て、ミスは後輩が多いと考えていた自分が恐ろしくなった
- 当事者の気持ち、家族の気持ちと、あらゆる角度から考えさせられる機会となった
- 1年目の看護師です。自分の責任の重さを怖いほど痛感しました

など沢山の意見が寄せられました。また各病棟の医療安全推進担当者である、看護師長からは以下のような感想が聞かれました

西3病棟師長：講演会の感想を皆で話し合い、確認行動の徹底、問題意識共有の重要性を再確認しました。

西4病棟師長：講演会では看護業務における責任の重大さを、改めて実感させられました。病棟の安全委員会を中心にリスク感性を高められるよう取り組んでいく事を確認しました。

西5病棟師長：参加できなかった職員にも伝達できるよう資料は閲覧可能な状態に設置しています。病棟会議でも情報提供を行い、他人ごとではない事を伝えて行きたいです。

ICU担当師長：講演会後は自然にディスカッションが始まり「今、私たちに問題となっていることはないか」などの疑問や思いを話し合うことができました。

医療の安全は、医師や看護師一人ひとりが確実な行為をすることはもちろんですが、コメディカルを含めた医療従事者と、患者様ご自身と、そしてご家族の皆様の協力を得ながら、今後も医療の安全確保に努めて行きたいと思えます。

横浜医療センター病例検討会・研究会開催のお知らせ

西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科部長
045-851-2621 (代)

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第2月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松外来診療部長・松島消化器科部長
045-851-2621 (代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい

お知らせコーナー

新採用医師紹介！

小児科医長 菅井 和子



4月より小児科に赴任いたしました菅井和子と申します。専門は気管支喘息、食物アレルギー等のアレルギー疾患です。鍋木部長とは、神奈川県立こども医療センター時代から、横浜南共済病院では5年間下で勉強させていただきました、かれこれ10年以上お世話になっております。また、国立岡山病院（現国立病院機構岡山医療センター）小児医療センターで研修医時代を過ごしましたため、再びの国立病院勤務であり「初心に返って」という心持ちでおります。何卒よろしく願い申し上げます。

麻酔科医長 土井 智喜



□□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■

循環器科医師 八代 文



□□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■

外科医師 清水 哲也



□□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■

整形外科医師 小椋 研



□□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■

整形外科医師 河井 卓也



□□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■
 □□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■

臨床検査の進め方、検査値の見方

副臨床検査技師長 林 亮

臨床検査科で行っている検査は検体検査と生理検査に大別されます。検体検査には血液や尿中物質の分析（血液、生化学、血清、一般検査）、微生物の培養同定（細菌検査）、組織や細胞の形態を観察し診断を行う病理検査などが含まれます。生理検査には心電図や脳波、超音波、呼吸機能検査などが含まれ、いろいろな装置を用いて測定を行っています。また、これらは更に細分化され、検査項目は膨大な数となります。

臨床検査を行う目的は病気の診断および病気の進み具合、治療方針、治療効果の判定にありますので、診断の推定や病態の把握にはスクリーニング的に比較的多くの検査項目が必要となり、確定診断が得られなければ必要に応じて追加の検査が実施されます。また、診断確定後の治療効果の判定を目的とするなら、それに見合った項目を選択するなど適宜必要な検査項目を決定し検査を進めていくことになります。

検査値の見方についても同様に、状況に応じて依頼された検査結果を総合的に判定したものが、診断を行う材料となります。人間ドックや健康診断、診察前検査などで検査結果と基準値（いわゆる正常値）が記載された報告書を見る機会もあると思いますが、メタボリックシンドロームなどは診断基準（空腹時血糖110mg/dl以上など）も定められており、健康を考える上で定期的な健康診断と検査値を意識することも有意義と考えます。また、その他の検査項目でも基準値に対して自分の値がどの位なのか、肝臓や腎臓など臓器別に見るとどうかなど検査値を意識して頂きたいとも思います。

しかし、検査値を見る上で注意したいのは、「基準値だから健康、基準値からはずれているから病気」とは言えない点です。基準値の設定は、概ね正常な人の95%が当てはまるように設定されていますので、健康な人でも基準値からはずれることがあります、その逆もあります。さらに、検査値は食事やストレス、検査日の体調などによっても変化する項目があります。また、腫瘍マーカーなど標準化の進んでいない検査項目が多数あり、施設（測定装置、試薬）により検査値が大きく異なる点にも注意が必要です。したがって、正常、異常の判定については検査を受けた方の病歴や、現在の状態、レントゲン、CT、MRIなど他の検査所見をあわせて、医師による総合的な判断が重要と考えます。

看護部だより

●●●新採用看護師61名 安全をモットーに！●●●

看護部・教育担当看護師長 植木 富子

4月に61名の新採用者を迎え、3ヶ月が過ぎました。横浜医療センターでは国立病院機構ACTYナースのキャリアパスに基づき、教育目的・目標を設定して教育計画を立案・実施しています。教育内容は、新人看護師が今後3年間、院内の集合教育と現場教育を受けながら、専門職として質の高い看護提供ができることを目指しています。

新採用の皆様はプリセプターの指導を受けながら少しずつ成長して、過緊張の中にも、気持ちに少し余裕を感じるようになった頃でしょうか？ 又そろそろ、夜勤という新たな体験に対して、不安と期待を抱いている時期だと思われます。新採用者は自ら主体的に学習、自己研鑽をしながら、ACTYナースに提示されている経年別の到達目標を定期的に確認し、課題に向けて努力して欲しいと考えます。

私達の職場には安全・安心が強く求められています。新採用者オリエンテーションにおいて、医療安全係長と感染管理認定看護師から感染や事故防止について基本的なことを指導して頂きました。患者さまと自分を守る為に是非、研修で学んだ手順に沿って焦ることなく、確実に実行しつづけて欲しいと思います。

また、プリセプターや先輩看護師は、新採用看護師の役割モデルとなり、不安全行動の無い病棟を目指し、病棟全体の安全教育を向上させて下さい。

教育担当看護師長としては新採用者が全員、元気で明るく、自主性のある看護師に成長し、得た力を発揮していけることを心より願っています。



筆者



新採用者教育 テーマ「安全な移送」

●●●～肥満症の食事療法～●●●

栄養主任 高倉 さつき

「仕事が忙しくなって太った」「転職してから太った」「退職してから太った」「過度のストレスが～」etc…太ってしまったのには、ワケがあるのです。肥満の原因は様々ですが、肥満を招く一番の原因は、やはり食べ過ぎです。その他にも食事時間や食べるスピード、環境などいろいろなことが関係するので、食事の内容や量だけでなく、食習慣も見直すことが必要です。肥満の原因はいくつかあり下記①～⑨が複合して発症するケースが多いです。

- ①加齢 ②高カロリーの食事 ③早食い ④夜型生活 ⑤アルコール・お菓子の摂りすぎ
⑥外食が多い ⑦つきあいが多い ⑧体質・遺伝 ⑨運動不足

栄養相談での食事記録の実例をご紹介します、

- 1) ご飯はお茶碗に軽く一杯程度と主食は少なくして、主菜は制限無しで食べている。いわゆる「おかず食い」が多いようです。おかずが多くなると塩分・脂肪の摂りすぎに繋がるので、ご飯は適量を食べて腹持をよくし主菜（肉・魚・卵・豆腐）の一品、副菜（野菜・海藻・きのこ）の組み合わせを意識するとよいでしょう。野菜はサラダ・酢の物・お浸し・煮物など毎食摂るようにすることです。
- 2) 外食が多く自炊できない場合は定食メニュー、単品でも野菜のとれるもの選ぶこと。コンビニ・スーパーのお総菜を上手く組み合わせればバランスのよい食事ができます。週に1回でも時間に余裕があるときはお浸しだけでも作って食べるなど、出来ることからやってみることで。
- 3) 嗜好品：アルコールは胃液の分泌を増し食欲を増進させてしまうので（適量：ビール350ml/缶・チューハイ2杯/グラス）一度に飲む量を決めて休肝日を作ること。お菓子はほどほどに、間食として果物・乳製品をすすめます。果物や牛乳はカルシウムやビタミンを摂ることができます。

さあ、春です！食生活の改善と適度な運動（体を動かすこと）をはじめてみませんか。

行事等紹介

NHO横浜医療センター附属横浜看護学校竣工記念式典・祝賀会

管理課長 茅根 広

5月26日（土）、前日の大雨が嘘のような快晴に恵まれ、横浜看護学校竣工記念式典・祝賀会を新築間もない、視聴覚室、体育館にて開催いたしました。

この4月から1学年定員80名の大型校として独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校と校名変更して動き始めました。

週れば、工事着工の遅れ等もあり、新入生のみが新校舎で、2～3年の在学生在が旧校舎でと別々での新年度スタートとなりましたが、教職員全員が出勤して5月の連休には旧校舎から新校舎への引越及び物品搬入の為の作業を行い、無事5月7日（月）から全学年新校舎での授業を開始することができました。

竣工記念式典は、学校長の挨拶（平成18年度第42回生の卒業で45年前の開校以来1,555名の卒業生が全国各地で活躍している。）に始まり、約150名の方々のご臨席を戴き、坂井学衆議院議員、山西担当理事、地元戸塚区選出市議員等多くのご来賓の方々より心温まるご祝辞を頂戴いたしました。また、祝電も多数ご披露させていただきました。

正午過ぎ祝賀会は、体育館での同窓会から寄贈のあった“どん長”等のお披露目もあり、終始和やかな雰囲気、町内会長、大正住宅管理組合理事長、大正団地自治会長、同窓会役員の方々等多くのご来賓の方々との親交を深められたものと思っております。

今後とも皆様方のご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。



「看護の日」の行事について

看護研究会会長 浄泉 英子

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日を「看護の日」と制定されている。「看護の日」制定の趣旨は高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を私たち一人ひとりが分かち合うことが必要です。こうした心が、老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるよう、旧厚生省等により、1990年に「看護の日」が制定されました。

そして、5月12日を含む日曜日～土曜日までの1週間が「看護週間」です。

当院では5月6日から5月12日までを「看護週間」として、広報活動や看護への理解を深める啓蒙活動を行いました。

5月11日は写真のように玄関にナイチンゲール像を置き、盛花を添えて看護の日をお知らせしました。当日は2名の看護師長がインフォメーション対応しながら、「看護の日・看護週間とは」についてのパンフレットを配布しました。患者様からは「介護相談ができるといいね」とご意見を頂き、今後の課題としました。

来年度は各病棟の委員の協力を得て、看護相談を受け入れ、横浜医療センターの看護を伝える行事としていきたいと思っております。



行事等紹介

第5回糖尿病フェアを終えて

糖尿病チームケアユニット委員長 西4階師長 三崎 洋美

糖尿病フェアを5月28日（月）10時～12時、当院大会議室にて開催しました。今年で5回目を迎えました。糖尿病チームケアユニットの、取り組んでいる内容を患者様に知って頂くことを目的として、医師や看護師の他に検査技師・栄養士・薬剤師・理学療法士が企画運営しています。今年度の参加者人数は57名でした。

内容を紹介しますと、

1. 糖尿尿教育入院の紹介
2. 血圧測定・血糖測定
3. 宅配食・低カロリー甘味料・低カロリーの和菓子・アイスクリームの紹介及び試食
4. 糖尿病治療薬の相談
5. フットケア指導
6. 筋力トレーニング・ストレッチ
7. 糖尿病網膜症について・・・「めんだんず」による実体験
8. メタボリックシンドロームについて・・・腹囲測定・体脂肪測定
9. 宇治原統括診療部長の講演

テーマ「数字」 ～覚えよう・目標にしよう～

毎年、来院された方々のお目当ては宇治原統括診療部長のお話です。今年は、プログラムの最後にしたので、ほとんどの方が会場に残っていました。

会場では、理学療法士に熱心に運動療法について質問されている方、「めだまんず」の模型を興味深くのぞいている方、宅配食や低カロリーの和菓子を試食されている方、食事療法について質問されているかたなど、各コーナーで熱心に質問され、有意義な時間を過ごされていました。参加された方々へアンケートをお願いしたところ、47名の方に回答して頂きました。やはり一番の興味は先生の話で33名、次に各種測定24名・血糖測定21名・運動の実践指導15名という結果でした。また、様々な貴重な意見も頂き、次年度はさらに参加される方々に糖尿病について理解していただき、教育入院により、血糖のコントロールが改善し合併症の予防が出来るように、糖尿病チームケアユニット一丸となって頑張っていきたいと思っております。



検査技師による血糖測定



「めだまんず」をのぞかれています。

AHA BLSコースが初開催されました

手術部長 宮崎 弘志

去る6月23、24日、本病院附属看護学校を会場にアメリカ心臓協会（AHA）認定BLS（基礎心肺蘇生法）講習会が行われました。本院の職員を中心に42名の参加があり、充実した講習となりました。

AHAのBLSコースは世界的に認知された最も標準的な講習であると同時に、効果的な成人教育、という教育的見地からも高い評価を受けたコースです。全世界で同じ教材を用いて開催されています。

本院では初めての開催で、快く会場をお貸し下さった看護学校の先生方のご協力もあり、大成功であったと思っております。参加された職員の救急医療の知識、手技は今まで以上に向上したと思います。

今回は4人の受講生に大人、小児、乳児のマネキンが2体ずつ、インストラクターが一人付き、DVDを見ながら、体を動かすことで知識、技術を覚えていく様になっています。体力を要する部分もありますが（筋肉痛が出た人も多いのではないのでしょうか?）、最も重要な部分を確実に持ち帰ってもらう事を主眼においています。

そうは言っても疲れてしまえば講習ができません。飲み物、軽食も楽しみつつ、持ち上げ上手なインストラクターに乗せられて、6時間はあっという間に終わったのではないのでしょうか。コーススタッフ全員、参加者の皆さんが楽しく、そして確実に手技や知識を身につけて帰るために頑張っています。

今後も定期的に開催を予定していますので、お手伝い下さる方大歓迎です。



行事等紹介

大正小学校の登下校時間帯交通整理について

6月1日より、新病院の建替工事に伴い、原宿町内会の要望を受けて、病院正門前横断歩道の歩行者と工事車両との交通事故防止に努めます。

具体的には、大正小学校の下記登下校時間帯について、駐車場管理業務委託を拡大して、交通整理員を配置致しました。

新病院建替までの間、工事車両の敷地内進入が多くなりますが、交通安全に最善を尽くしますので、ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。(企画課)



記

交通整理員配置時間帯（平日の毎日）

登校時間 7:30～8:30

下校時間 13:30～15:30

看護師募集中

募集職種：非常勤看護師

勤務時間：4月より週32時間

（勤務日・時間応相談）

給 与：時給1,520円

（月額約190,000円）

連絡先：管理課給与係 篠原

電話番号：045-851-2621



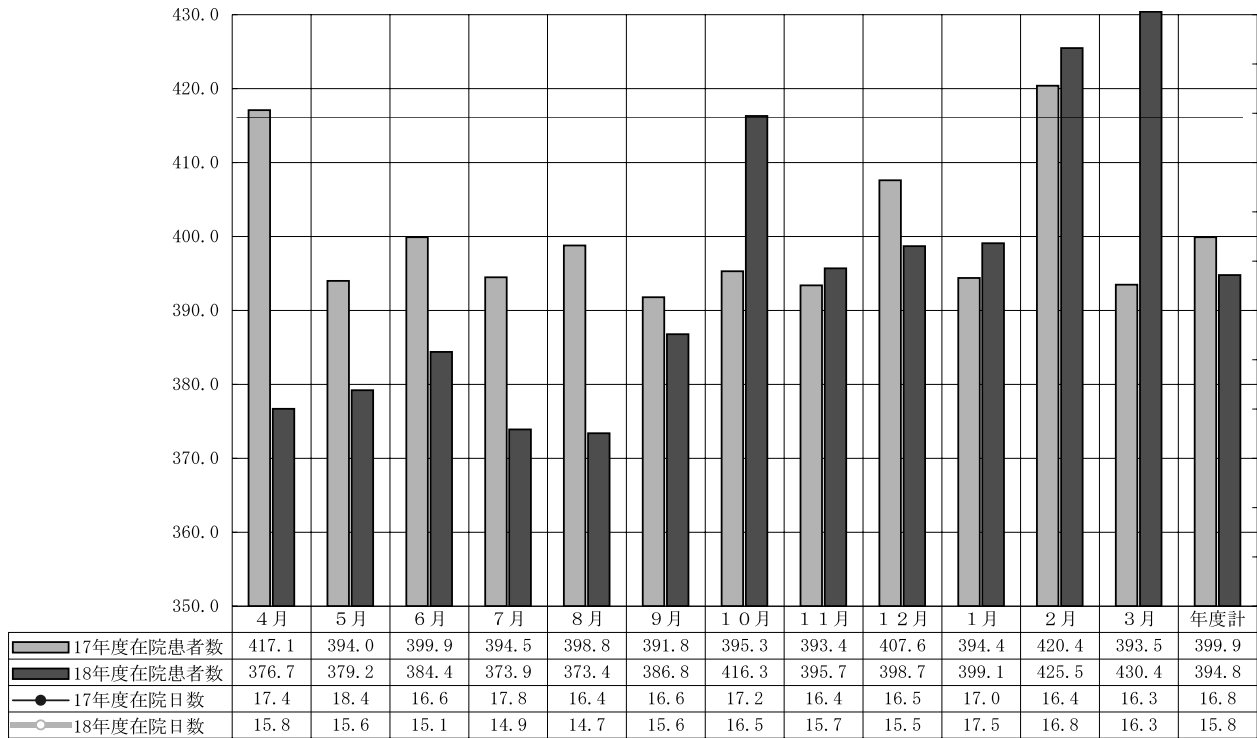
◆ ◆ ◆ ◆ 医師の人事異動 ◆ ◆ ◆ ◆

(H19.4.2～H19.7.1)

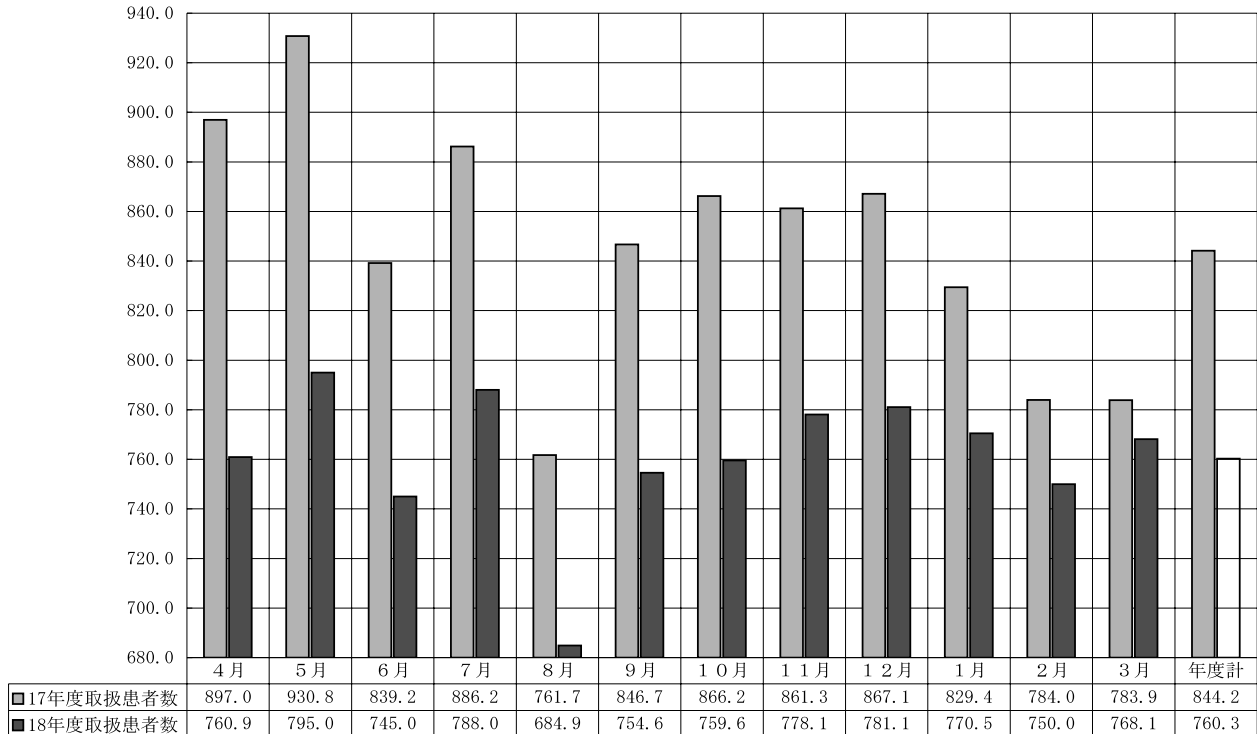
退 職 者 等				採 用 者 等				
発令年月日	発令	氏名	職名	退職後の施設名	発令年月日	発令	氏名	職名
平成19年4月30日	退職	武田 行 広	脳神経外科医師	-	平成19年6月1日	採用	神 津 知 永	消化器科医長
平成19年5月31日	退職	塚 田 百 合 子	消化器科医師	社団法人至誠会第二病院	平成19年6月1日	採用	児 玉 和 久	消化器科医師
平成19年5月31日	退職	天 野 幸 子	消化器科医師	医療法人顕秀会石垣病院	平成19年6月1日	採用	長 尾 健 太	消化器科医師
平成19年5月31日	退職	春 山 浩 美	消化器科レジデント	東京女子医科大学病院	平成19年7月1日	昇任	外 村 光 康	産婦人科部長
平成19年6月7日	退職	小 峰 公 代	消化器科医師	留学				
平成19年6月30日	退職	永 田 順 子	産婦人科部長	こころからだの元気プラザ				

患者数の動向 ～1日平均～

入院患者数年度別月別比較 (H19年6月31日現在)



外来患者数年度別月別患者数 (H18年6月31日現在)



編集後記

今年は異常気象の影響もあり、梅雨入りが多少遅くなりましたが、ようやく横浜も紫陽花の色づく季節を迎えました。横浜医療センターでは、看護学校の建物が新しくなり、少し先のことにはなりますが、病院も新棟建築を予定しております。取り巻く風景は徐々に様変わりしていきますが、草木も多く緑の映える横浜医療センターは、今後もこの地域の風景を彩ってゆきます。

職員係長 高山 敦

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考
総合内科・初診	第1・3・5週消化器、2・4週循環器	内科交代医師	松浦 宏之	関口 章子	曾我 隆義	△:午後1:00～2:00(受付時間) ▲:紹介状持参の方のみ
内 科	高木 佐知子	今井 えりか	須澤 直木	宇治原 誠(予約のみ)注	宇治原 誠(予約のみ)注	注 内科・金曜日(第2・3・4週のみ)
神経内科	土井 宏	△高橋 竜哉	検査日	遠藤 雅直	検査日	
呼吸器科	橋原 基史	検査日	山川 泰	検査日	橋原 基史	
消化器科	交代医師	塚田 百合子	松島 昭三	前出 幸子	小松 達司	■:午後の予約のみ 《循環器科新患当番医》 (月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出] (火)田中・(水)岩出・(木)田中[岩出]・(金)巽
循環器科	巽 藤緒	岩出 和徳	田中 直秀	▲田中 直秀	岩出 和徳	
リウマチ・アレルギー科	加藤 丈二	へースメーカー外来				
	曾我 隆義	検査日	検査日	■曾我 隆義	■関口 章子	
心療内科	検査日	成田・鎌田	武川 吉和	検査日	検査日	完全予約制(要紹介状)で午後のみ<火曜日>多数週(一般心身症)成田・偶数日(女性心身症)鎌田/<水曜日>(一般・小児心身症)武川
精神科	山口 隆之	武川 吉和	山口 隆之	成田 博之 鎌田 鮎子	武川 吉和	※月～金:新患受付は10時まで受付可。(要紹介状、1日2名の予約制) 但し、当該医師以外の医師が診察いたします。詳細は精神科外来にお尋ねください。
小児科	鈴木 陽一 神山 明美	菅井 和子 和田 芳雅	鈴木 陽一 菅井 和子	小林 慈典 大山 宣孝(第1・2) 西山 綾(第3・4)	鈴木 陽一 小郷 寛史(第1・2) 榎本 聡子(第3・4)	
外科	清水 哲也 交代医師	関戸 仁 ◎土井 卓子	松田 悟郎	◎土井 卓子 ◎田辺 美樹子	◆高橋 俊毅 ◆山本 俊郎	◆:完全予約制 ◎:乳癌外来(火・木)完全予約制
呼吸器外科					坂本 和裕 山仲 一輝	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。
整形外科	国府 秀俊 小椋 研 河井 卓也	日塔 寛昇 国府 秀俊 朴 圭一	国府 秀俊 河井 卓也 川島 史義	日塔 寛昇 小椋 研 朴 圭一 ※三谷 秀俊	日塔 寛昇 小椋 研 川島 史義	(受付時間)初診・予約外再診とも 8:30～10:00 ※予約のみ
形成外科	高瀬 税		口高瀬 税	高瀬 税	高瀬 税	□:手術日のため午前のみ ▲:第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM1:00～5:00の間に地域医療連携室までお問い合わせください
脳神経外科	急患のみ(手術日)	▲ 交代医師 ※(脳ドック)	竹本 安範 ※(脳ドック)	急患のみ(手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫 ※(脳ドック)	
心臓血管外科	東館 雅文	手術日	検査日	益子原 幸宏	東館 雅文	
皮膚科	坪井 廣美 山本 都美 百瀬 葉子	山本 都美 百瀬 葉子	坪井 廣美 山本 都美 百瀬 葉子	坪井 廣美 百瀬 葉子	坪井 廣美 山本 都美 百瀬 葉子	
泌尿器科	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康	
産婦人科	中村 秋彦 永田 順子	外村 光康 斎藤 松本	中村 秋彦 外村 光康	乗杉 輝彦 ※乗杉 輝彦	永田 順子 中村 秋彦	※ 木曜日の産科は新患、急患のみ (受付) 初診・予約外再診とも 月・水・木曜日 8:30～10:00 火・金曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30～9:30
眼 科	清水 康平 岡部 智子	手術日	清水 康平 岡部 智子	清水 康平 岡部 智子	手術日	
耳鼻咽喉科	深澤 雅彦	向出 光博	杉山 裕	小宅 大輔	休診	
放射線科	栗原 須生美 ※注①	中山 優子 ※注②	日下部 きよ子 (甲状腺外来) ※注③		中山 優子 ※注②	※注①月曜日 8:30～11:00[完全予約制] ※注②火・金曜日13:30～15:00[予約は内線4307まで] ※注③診察日は放射線科にお問い合わせ下さい。
歯科口腔外科	塩入 重彰	塩入 重彰 大槻 伸江	手術日	塩入 重彰 大槻 伸江	塩入 重彰 大槻 伸江	新患は、火・木曜日の午前8:30～11:00まで、再診(完全予約制)。急患は随時受付(紹介状から直接連絡ください) 新患(紹介状又は、診療情報提供書を持参して下さい)。(可能な限り)詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。
専門外来(午後のみ)	小児	喘息(鈴木・菅井) アレルギー検査(交代医師) フォローアップ外来(福山)第4週	腎(伊藤)※第1週 喘息(鈴木) 感染免疫(小林)第2・4週	喘息(石田)第2・4週 喘息(菅井) アレルギー検査(交代医師)	乳児検診(交代医師) フォローアップ外来(小郷)	循環器(鈴木)※第3以外 予防接種(交代医師) 神経(武下)※第3のみ
	外科	横浜市乳がん検診 ※注④	癌化学療法外来	癌化学療法外来	癌化学療法外来	※注④横浜市乳がん検診の受付:14:00～16:00乳癌検診
	女性診療外来	※注⑤		スキンケア外来 ※第2・4週		※注⑤担当医:[外科土井・皮膚科坪井] 女性のための総合診療をめざす外来です。 産婦人科受診希望の方は直接産婦人科外来を受診して下さい。女性外来では内診などは行っておりません。乳癌疾患は火・木曜日の乳癌外来で女性医師が対応します。全人的に対応し、必要があれば心療内科を含め複数科の女性医師が連携します。
	産婦	母親教室			母乳外来	
	循環	へースメーカー外来 ※注⑦				※注⑦ 第1・3・5週[加藤] 第2週[巽] 第4週[榎林]

初 診 受 付: 平日8:30～11:00
但し、整形外科、眼科、放射線科は上表備考のとおり
再診(予約外)受付: 平日8:30～11:00
但し、整形外科、眼科、放射線科は上表備考のとおり
休 診 日: 土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分に変更箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。

又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廊等が点在していました。

